

令和5年度第4回利根町地域公共交通活性化協議会 議事要約

【日時】令和6年3月14日（木）14時00分～15時30分

【場所】利根町役場 行政棟5階 5-A会議室

<配布資料>

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 町民アンケート調査結果概要
- ・ 資料2 利根町地域公共交通計画について

【出席者】板谷会長，伊藤委員，川上委員，塚田委員，小針委員，村野委員，仲野委員（代理出席 國下様），寺田委員（代理出席 長谷川様），中嶋委員（代理出席 小田島様），櫻井委員，澤島委員，赤根委員，飯野委員（代理出席 海老原様），花嶋委員，服部委員，勝村委員

【欠席者】海老澤副会長，早川委員，新井委員

【事務局】政策企画課：布袋課長，渡辺課長補佐，生井係長，五十嵐主査，清水主査

1. 開会（事務局 司会）

2. 会長あいさつ

3. 議事

事務局（司会）

それでは，会議次第の3. 議事に進みたいと思います。ここからの議事の司会進行は，利根町地域公共交通活性化協議会条例第六条第2項の規定により，板谷会長にお願いしたいと思います。

では，板谷会長よろしく願いいたします。

会長

はい，承知いたしました。それではこれから議事を進めていきたいと思います。

議事の説明は株式会社ケー・シー・エス様にお願いいたします。

（株）ケー・シー・エス

※資料に基づき説明（町民アンケート調査結果の概要）【資料1】

板谷会長

それでは質疑応答の時間としたいと思います。資料1の内容に関して、ご意見やご質問がございましたらご自由にご発言いただきたいと思います。

委員

p.7左側「公共交通に対する町の財政負担について」に関して、町に限定して設問を設定している為、派生的に「自己負担が多くなってもやってほしい」という設問が出来たらもう少し面白い結果が出たのではないかと思います。あくまでもこれは助成負担を増やして下さいという話でしたので、困っている部分にすれば最終的にそこまでやらなくてはいけないのかなという感じがします。

もう1つ、利根町自体の地区的な特性という事で、東側地区が公共交通の恩恵があまり受けられない環境になっているのかと思います。自家用車で行かざるを得ない、自分で何とかしなければならないという形になると、この辺の地域性が益々委縮していくのかなと思いました。

(株) ケー・シー・エス

1つ目に関して、確かにこういった回答が増えたというのはあるかもしれないので、今後調査等がある時には、参考にさせていただきたいと思います。

2点目に関して、アンケート調査を12月に実施しており、今とりまとめで一通りこういった形でまとめましたが、今後具体的に検討を進めていく中では、地区別の分析も行いながら検討していきたいと思っています。町の東側と西側では暮らし方もかなり違うと思いますので、そういった所はアンケートの地区別集計等も見ながら分析していきたいと考えています。

事務局

ワークショップの方で色々と公共交通がないという事で、基本的には近隣の方の力を借りながら病院・買い物に行っているという話は伺っています。ただ、一人暮らしの高齢者の方も多く、ご家族の方が様子を見に帰ってきた時に、夜のバスがない等、そういう所で不便をきたしているという話を伺っています。

委員

バス協会ですが、p.7に違和感がありました。①望まれる公共交通サービスの左図「安い運賃で利用できる自動運転バスや自動運転タクシー」とありましたが、自動運転の車はすごく高く、結果的に安い運賃で出来るかは逆かなという感じがします。設問の仕方の問題もあるのかなと思います。5年後10年後になると運転ができなくなりますが、その時に財政負担を町の方でやっていただき、公共交通を抽出して欲しいという気持ちの方が強いのかなと思います。現状ではなく5年後、10年後を考えた方がいいと思います。

また、「運転手不足」はどうしようもなく、大利根交通さんも多分苦勞していると思います。運賃を値上げして、町・国等から補助金をもらっても、運転手がいなくては運行が出来ないという状況が今後発生しますので、その時どうしたらいいのかを考えてもらいたいと思いま

す。出来れば、行政も含めて運転手確保の対策をお願いしたいとも思います。

例えば日立市は、運転手になった場合に、町とバス事業者はそれぞれ30万円、合計60万円の負担をしています。そういった取り組みが全国的には出てきていますので、行政のお力添えをお願いしたいと思っております。

(株) ケー・シー・エス

1点目に関して、設問のあり方が違うというのは考えさせていただきました。意図としては、自動運転という事で人件費の削減が図れるという事で運賃も低くなるという話もありましたので、そう設定させていただきました。

2点目の運転手不足への対応に関して、ヒアリングの中でもやはりかなり苦勞されているという事で、公共交通を構えていく上での大前提になっていきますので、人が少なくなってきましたが、その中でどこの移動を維持していくのかというのはしっかり考えていきたいと思っています。

そして、各課に向けた取り組みについても、事務局内で検討していきたいと思っています。

事務局

運転手確保に関して、現状利根町の方では補助が出来ていません。これから公共交通の見直しをしていく所ですので、運転手の確保に関しては検討していきたいと思っています。

運賃に関して、議会の方でも色々出ておまして、運転免許返納時だけではなく、もう少し運賃の助成が出来ないかというのは伺っています。今回、この計画の中で見直しをはかっていく上で、また検討していきたいと思っています。

委員

町の東側地区の方が、路線バスの恩恵が受けられていないという事に関して、やはり我々の運転手不足の部分に繋がります。少ない人数で一番効率よくバスを運行すると、どうしても住民のあまりいない地域にはバスを走らせることができないという状況があります。

例えば、住民が多く密度の薄い地域でパークアンドライドの取入れや、福ちゃん号やふれ愛タクシー等と、本線とフィーダーといった連携が上手くできれば、地域に偏らず、路線バス等にもご利用いただける機会が出来るのではないかと思います。こうした会議の中で、結びつきや繋がりも発展していけたらと期待しています。

委員

今回のアンケートの回答者の半数が70歳以上ですが、p.1右下「運転免許返納意向（年代別）」グラフに関して、約半数の方々はバスを利用しないと自力ではどこにも行けなくなるということがわかりました。

また、買物・病院・通勤の時間帯がありますが、重なり合わない時間帯に、例えば福ちゃん号は町内を全体的に全て網羅するような形をすると、現在の運転手の数に近い形だという可能性があったと思いました。

駅に関して、「布佐駅と取手駅に行つて欲しい」という回答がありましたが、現在ある路

線なので、本数を増やしてほしいという気持ちだと思います。そこと競合しない藤代駅等に通勤通学の時間帯に行けたらと思います。回答者の人数が少ないにもかかわらず、10・20代が現在の生活に困っているという回答があまりにも多いです。この人たちはここでは生活出来ないのを出ていくという事になっていくと思います。何年後に町の収入がいくらになるのか等そういった数値の方を調べて欲しいと思います。何かしないと何もないという状況にあるのではないかと思います。大型の施設が出来るのであればそちらに繋げて良いのではないかと思います。

(株) ケー・シー・エス

p.1「運転免許返納意向」の所で、回答は530人+190人中で、それぞれ1割が5年以内に返納するという事で、このデータをもとに推計にはなりますが、5年後には大体どれぐらいの人数の方が公共交通の利用価値が高まりますと示しながら考えていけるといいかなと思いました。また、地区別の集計を更に進めていく中で見えてくるといいと思います。

会長

私が重要と感じた点は、「若者の方が実は困っている」ということです。使う時間帯や自動車の運転が出来るかどうか等、色々な要素があり、自動車の運転ができる人はほとんど何も困らないのに対して、自動車の運転が出来ない人は本当に困っているという分裂がこの町でも起きているというのがp.7で非常に明らかになったと思います。

高齢者向けの対策は身体的な問題を考えなくてはいけません、若者の場合は、バス等を利用するのに何回も手筈を踏んだり、割引の手段の整備等を求めてくる為、若者としての対応が必要になると思っています。両方面倒を見なくてはいけないので、何とかしなくてはいけないというのが、今回の調査からかなり明快に出ている印象を受けました。

そうしますと、若者のサンプル数が少なく、特に路線バスの利用状況の方は過小評価になっており、恐らくもう少し利用者は多いと思います。それを念頭において計画は作らなくてはいけないと思いました。

「人材不足」に関して、バスの運転手不足は大型免許を取得しなくてはいけないという点を含め、各地非常に苦労して取り組んでいます。これに比べるとタクシーの方は2種免許を取得すれば良いという事で、対策がまだ容易であるといえます。また、「ライドシェア」は1種できちんと運行管理してもらえば出来るという地域がこれから出てくると思います。そうしますと、ふれ愛タクシーも若干改善が必要かもしれませんし、福ちゃん号に関しては大胆に改革をしなくては、今の町民の方々のニーズに合わない部分大きいと感じました。

自動運転に関しては、現状実験段階です。実際に使えるようになるまでに時間がかかりますので、自動運転にあまり期待せず、まずは運転手の確保が重要だと思います。また、働き方の改革が4月からありますので、短時間労働・土日に働ける・6時-12時に運転しても良いという人を、町をあげて探していく、あるいは手を挙げやすくするといった努力が今後必要になってくると思います。こういった所も含めて計画の中に入れると良いと思います。

続きまして、議事2につきまして、説明をお願いします。

(株) ケー・シー・エス

※資料に基づき説明 (利根町地域公共交通計画の全体像について) 【資料2】

会長

それでは資料2の内容に関して、ご意見やご質問がございましたら自由にご発言いただきたいと思ひます。

委員

特に施策・事業の①～④に関して、家庭の中でプランニングを作成して実行していくのが良いと思ひました。現在、行政の方から色々な時刻表を様々な形で出されていますので、各家庭で作れると私は思ひました。このようなプランニングシートを家庭内で作成出来たら、この問題の半分以上は解決できるのではないかと思ひました。

会長

そういったことを皆さんにやっていただくための工夫を他でもやっています。そういうやり方で対応出来るというのを町民の皆さんに知っていただくことが必要だと思ひます。町内の広報でご案内・配布することを計画の中に入れて込んでいくのもありかなと思ひますので、是非参考・検討していただきたいと思ひます。

委員

国土交通省の方で令和6年度の補助金を出しています。特設のWebサイトに令和4年度・5年度の事例が載っていますので、他の自治体を参考にさせていただけたらと思ひます。

地域公共交通の優良事例に関しましても、過去の自治体の事例がありますので、参考に取り入れていただけたらと思ひます。

会長

ここ1・2年で国の補助が増えていますので、是非ご覧ください、是非検討したい所です。自分たちの役場の中だけで全部必要なお金を作っていくだけではなく、使えるものは使っていくというのは全くその通りだと思ひます。

1点目、商業施設という言い方をしますが、「買い物」も雑駁な大きな分け方をしますと、毎日の食料品の買い物と、そうではない買い物(衣服・外食を兼ねて出かける等)があります。このどちらを重点的に回すべきかで考えますと、毎日の買い物で公共交通手段を使われる方は割合的には低いです。帰りに荷物を抱えた状態でバスやタクシーを待たないといけないのが大変です。その為、お出かけの時には公共交通機関を利用するが、そうでない時はなるべく自力で移動する方が多いのが実態に近いかなと思ひますので、そうした配慮が必要だと思ひます。幹線の拡充、サービスの改善をやらなくてはいけないと感じます。

加えて、公共交通機関を利用しやすくするための方法として、例えば、バス停まで距離があるとしても、バス停付近に無料駐輪場が整備されていれば通学にバスを利用するという人もいるかもしれません。こういう整備は、事業者さんをお願いするのではなく地元で整備していく

のが本来だと思います。具体的にどのくらいやっていくのかは地元の人と上手く検討していかなくてはいけない事ですが、乗りやすくする為の工夫を詳細計画の中に少し踏み込んでいけると良いと思いました。町民の皆さんに今までより利用しやすいと思っていただけるような施策・提案をしていくべきだと思っています。

2点目、個別交通・タクシーに関して、現実的にはタクシーのサービスをより便利にしたり、回数を制限しながらもタクシーの補助券を配布したりする等、これらの事を具体的に使えるようにしていくことが必要だと思います。今後免許返納者が増えていく事が想定される中で、バスに乗れない人が出てきてしまうので、なるべく乗りやすい車両を使ったサービスを計画の中に入れて反映させていきたいと思っています。

3点目、自転車・歩行者等のネットワークもあわせて検討したいと思っています。バスであれば、停留所までの移動手段等、今後事業部・コンサルで検討してみても具体的な施策としてやっていきたいと会長としては思っています。

委員

私は、割と若い人のための改善をしてほしいなと思っています。誰かを当てにせずに移動できるというのが前提だと思います。中学校は1校しかありませんので、大体自転車通学だと思いますが、そのサイクリングコースが出来たら、学生は安心して登下校出来ます。自転車通学で交通事故にあわない町は売りにもなると思いますし、ライドシェアも屋根のある綺麗なバス停が出来たり、ベンチがあったりすると良いと思います。

会長

おっしゃる通りです。我々世代でご両親の面倒や移動の足になるという方が多いです。そういう方々の苦労はとても大きいのにに対して意見は十分に反映されてきていません。そういう方々の苦労が少しでも軽減出来るように私個人としては目指していきたいと思っています。

また、ライドシェアの元々のイメージは乗り合いでして、きちんと対価をいただけるのが本来の趣旨ですが、現状ボランティアベースになってしまっています。そうした事も含めて負担される方々の負担が大きくなるというのが必要になります。特にこれから人手不足が出てきて対応しなくてはなりません。今までと同じように運転者にすごく負担がかかるという事がないのが理想ですので、そこに近づいていきたいと私は思っています。

事務局

今後のスケジュールについて説明

(令和6年度の日程、住民説明会、パブリックコメント等)

5. 閉会

※終了